

法人設立の 基本

Question
問

自分でビジネスを行いたいのですが、どのような形態が最適なのか、法人設立にはどれくらいの時間がかかるのか、どのような書類が必要なのか、よくわかりません。アドバイスいただけますか？

▶法人設立の基本的な流れを見てみましょう

1. 個人事業と法人のどちらを選ぶべきか？

個人事業の開始は、法人を設立するよりもはるかに簡単です。費用も安く、必要となる主な届出書類は、個人事業の開業届出書と青色申告承認申請書です。青色申告承認申請書の提出は義務ではありませんが、最大65万円の青色申告特別控除や最大3年間の欠損金の繰越などのメリットがあるので提出することを推奨しています。

法人税率は23%~35%程度となるため、個人所得税の税率が法人税率よりも高い場合は法人の設立を検討することになるでしょう。個人事業主よりも法人の方が有利になるかどうかは、予想される利益など様々な事項を考慮して判断する必要があります。法人を設立した場合は、役員給与や賞与を設定することで、節税を図ることができます。

▶法人の設立プロセス

2. 法人設立の準備

法人を設立する場合、株式会社の場合はおおよそ1ヶ月、合同会社の場合はおおよそ3週間の期間を要します。なお、外国人の場合の、在留資格の変更手続きにかかる期間は上記には含まれておりませんのでご注意ください。

▶法人の設立には、 一般的に以下のものがが必要です

定款	法人名、本店所在地、事業目的、事業年度、取締役、発起人、発行可能株式数などの情報が記載されている書類です。
法人印鑑	代表者印 (一般的には、銀行印、角印を含めた3点を作成)
資本金	金額に特段の制限はありませんが、許認可や在留資格等が必要となる方は注意が必要です。 資本金は設立中に発起人の個人銀行口座に払込をします。

3. 設立後

設立登記が完了したら、法人設立届出書等いくつかの書類を各当局に提出する必要があります。提出期限にご注意ください。

法人用の銀行口座	法人の設立後は、法人の銀行口座を開設します。法人名義の銀行口座の開設は義務ではありませんが、ビジネス上は新たに銀行口座を開設することが一般的です。
----------	---------------------------------------------------------------------------

4. 外国人の方の在留資格

外国人の方は、日本で事業を営むことが可能な在留資格を保持しているかどうか確認が必要となります。永住者(永住者の配偶者や子供を含む)は、従事できる活動の種類に制限はありませんが、永住者でない場合は経営管理に切り替える必要があります。在留資格の諸条件については事前にご確認ください。

※:事業内容によっては許認可が必要な場合があります。必ず事前に専門家にご相談ください! ご連絡をお待ちしております!

文●セブンセンス税理士法人 マネージャー Tanya Taseva

SSG Topics
チャンネル

ありがとう!
Thanks!
セブンセンスグループ公式note、3年目突入!
弊グループの若手社員を中心に運営している公式note。
2022年4月よりグループの諸活動に関する記事を「月1」で投稿しています!
そしてこの度、めでたく24ヶ月連続投稿を達成!
3年目に突入いたしました! ☆多 今後もグループをより身近に
感じていただけるよう、魅力的な内容でお送りいたします。ぜひご覧ください!



公式
note
こちらから!



たった30秒! 英語で「Topics」をYouTubeにて配信中!
Please check out our English YouTube page!

Seventh Sense Group Channel

YouTubeサイト内[Seventh Sense Group]で検索・登録!

https://www.youtube.com/channel/UCi20YyTxji7HplAT0Lc101Q/

ネイティブスピーカーのスタッフが、日本の税制やビジネス、そのほかさまざまなトピックスを、30秒間でコンパクトに英語で発信。情報収集や英語のヒアリングなどに、ぜひご活用ください!

新型コロナウイルスの分類が5類に変わって1年が経ちました。ひとまずは2020年以前の日常を取り戻しつつあります。大きく経営にダメージを受けた鉄道業界でも、需要が大きく回復しつつあります。とは言い、様々な経営改善に余念がない鉄道業界のお話をご紹介します。

関東の大手私鉄、東武鉄道が4月30日「中期経営計画 2024~2027」を公表。その中で磁気乗車券を廃止し、QRコードを使った乗車券に、2027年度までに移行する方針を明らかにしました。また5月29日、東武鉄道やJR東日本を含む首都圏鉄道8社は、2026年度末からQRコード乗車券への順次移行の方針を発表しました。

磁気乗車券は、自動改札機が本格的に導入された80年代後半頃から使用されているもので、裏の黒い部分に情報が記録されているものです。SuicaのようなICカードが導入される前は、磁気切符やカードを改札機に通していましたよね。

2021年に実施された調査によると、『普段利用している乗車券の種類は?』という問いにICカード(モバイルアプリ含む)の利用率は92.5%。切符・その他の7.5%を大きく引き離しました。

切符を使う人は減っているが、切符自体は必要。しかし、磁気乗車券には、高速で切符を動かす機械のメンテナンスコストや、機械の故障のリスクがつきまといまいます。

QRコード乗車券ならば、読み取り部分にかざせば済みます。また、インターネットで買った切符のQRコードをスマートフォンに表示させて、ペーパーレス運用も可能です。コストダウンを図りつ

つ、長期的にみた利用者や労働者の減少を見据えた施策と言えるでしょう。

様々値上げで少し切ない昨今、新しいビジネスのアイデアの模索と気分転換に、遠出をしてみるのもいいかもしれませんね。



A~Dに入る数字を足すといくつになるでしょう?
解答は、次月号に掲載します。

1	6		<input type="text"/>	<input type="text"/>	4	9
		9	5	7		
3	7				5	2
	8			9	1	
5			7			4
	2	1			9	
7	6				3	1
		8	4	1		
8	1		<input type="text"/>	<input type="text"/>	2	5

解答欄 + + + = 合計

5月号の答え + + + = 合計

先達に学ぶ。

「理論と実践の間に橋を築く」

李禹煥(リ・ウファン)氏
(美術家)



近年、国際的に再評価が高まっている「もの派」。日常的に目にするものを非日常的な組み合わせや配置で示すことで新しい見え方を表そうと、1960年代から活動していた作家たちを指す。この動向を牽引したのが美術家・李禹煥だ。

李は1936年、韓国で生まれた。新聞記者の父と古典文学に造詣の深い母のもとで育った。李は彼の家を訪れていた文人から詩や漢文、書などを習う。高校卒業後はソウル大学校美術大学に進学した。

入学間もなく、李は父から日本に住む叔父へ漢方薬を届けるよう頼まれ、密航船で日本へ渡る。そこで叔父に引き止められ、日本に残ることに。拓殖大学で日本語を学んだ後、日本大学文学部哲学科へ編入。大学院進学を考えていたが、韓国に一時帰国していた際にクーデターが起こり断念した。李は仕方なくアルバイトをしていたが、職場のビル内にギャラリーができたことで現代アートと出会う。作家や評論家と交流するようになり本格的に制作を開始。美術評論の執筆を通じて「もの派」の理論化にも貢献した。

著書で「自己と他との関係化による開かれた場所をアレンジメントすることが私の仕事である」と語った李。それは日韓の現代美術界の間の橋渡し役を務めたことからもわかる。何より、彼の作品から。近年はドイツや、フランスのヴェルサイユ宮殿、ニューヨークなどでも個展が開かれた。日本でも2022年に六本木の国立新美術館で回顧展があった。2009年、旭日小綬章を受章。多様性が重視される今こそ、“間に立つ”李の姿勢が求められるのだろう。

今月のBook Review 一冊

基礎から学ぶ
海外資産の法務と税務

- 編著：セブンセンス税理士法人
- 出版社：金融ブックス
- 価格：2,200円(税込)
- 発売中

海外資産・国際相続にまつわる「国際資産税」を基礎から紐解く良書! 国際資産に関係する法務と税務の基本的な概念について、海外資産を持つ方や、海外に接点をもつ相続・贈与関係者の方から、多く寄せられる相談を基に構成。起こり得る問題を踏まえた、事前対策の基本書としても最適。特に相談の多い米国資産にも言及しながら、12のケース別の対処等も解説。 kinyubooks.co.jp



今月、この日に何があった?



2001年6月2日
北海道札幌市に、札幌ドーム開業

雪の多い北海道でも冬季のスポーツイベント開催できる施設を、と1981年に北海道庁が全天候型多目的スタジアム「ホワイトドーム」建設構想を発表したが、高額の費用のため断念。しかし構想は継続し、1993年に2002開催のFIFAワールドカップの国内開催候補地となり、1998年6月に着工、2001年5月に完成した。ワールドカップ開催時には、屋内型スタジアムに欧州の関係者から高い評価を得た。2004年からは日本ハムファイターズの本拠地としても使用されていたが、2022年でファイターズは本拠地を変更。施設をどう活用していくか、模索が始まっている。